

2013年6月20日

## デジタルアート作品「世界はこんなにもやさしく、うつくしい」が デジタルサイネージアワード 2013 を受賞！

この度、成田空港で展開しているデジタルアート作品「世界はこんなにもやさしく、うつくしい」がデジタルサイネージアワード 2013(ブロンズ賞)を受賞しました。

今回で4年目となる同アワードは、公募した国内の作品の中から優秀なものを選出、表彰することでデジタルサイネージ市場のさらなる活性化を目指して制定されました。受賞作品はウェブサイトで発表されるとともに、2013年6月12日に「デジタルサイネージジャパン 2013」の特設会場にて表彰されました。

主催：デジタルサイネージコンソーシアム

後援：経済産業省／総務省／デジタルコンテンツ協会／デジタルメディア協会



### 【受賞作品について】

作品名称：成田空港デジタルアート「世界はこんなにもやさしく、うつくしい」

展開場所：第1ターミナル南ウイング4階出発ロビー

デジタルサイネージ「SKY GATE VISION」の中でも最大となる有機ELパノラマビジョンで展開中です。空港にお越しの際はぜひご体験ください。

表示時間：毎時30分間(6時～22時の、毎正時～30分まで)

作品概要：2011年、紫舟+チームラボにて発表。フランスのバーチャルリアリティ博覧会「Laval Virtual」の国際コンテスト「ReVolution」では「建築・芸術・文化賞」を受賞するなど、海外でも高い評価を受けています。

画面上部に設置されたセンサーで人の動きを感知し、映し出された「書」に近づくと、その書が意味する姿に形を変えて空間に広がっていくという、参加型のデジタルアート作品です。(参考動画：[http://www.team-lab.net/latest/case/narita\\_airport.html](http://www.team-lab.net/latest/case/narita_airport.html))